

事業番号	06 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課	
		実施期間	S43 ～	E-mail	mizutaiki @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・大気環境については、光化学オキシダント(Ox)を除き、環境基準及び指針値を達成している。また、有害大気汚染物質・ダイオキシン類についても、環境基準及び指針値を達成している。
- ・解体工事等に伴う石綿飛散防止対策の一層の強化を図る大気汚染防止法の一部改正を踏まえ、体制の整備や事業者への周知の徹底が必要である。
- ・北陸新幹線鉄道騒音については、環境基準が未達成の地点があり、事業者及び関係省庁への働きかけを継続する必要がある。

2 事業目的

大気の汚染状況の常時監視及び工場・事業場などへの立入検査により、良好な大気環境の保全を図るとともに、騒音・振動・悪臭対策を講じて、県民の健康に及ぼす影響を未然に防ぐ。

3 事業目的を達成するための取組

- ①大気常時監視の運営
 - ・大気汚染の状況を常時監視する機器の整備
 - ・測定結果の公表
 - ・大気汚染物質高濃度時の注意報等の発令及び発令メカニズムの解析
- ②排出源監視指導体制の強化
 - ・改正法施行（令和4年4月1日）に伴い、特定粉じん排出等作業監視指導体制の強化（職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会受講等）
- ③北陸新幹線鉄道騒音の改善
 - ・騒音の測定、環境基準の達成状況の確認
 - ・事業者への騒音対策を要望
 - ・関係省庁へ施設改良の実現に向けた制度整備を要望

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	昼間の光化学オキシダントの環境基準達成率	%	96.8	96.2	↘	97.0	↗	96.4	達成	現状直近3年間の平均を維持することを目標とする。	
②	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
③	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進	大気環境基準達成率(光化学オキシダントを除く)	%	2021 (R3)	100.0	2022 (R4)	100.0	2023 (R5)	100.0	2027 (R9)	100.0

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R5年度	0	79,852	△ 4,205	75,647		63,018	27.0
R4年度	0	76,464	△ 1,900	74,564		59,040	27.0
R3年度	0	69,976	△ 2,533	67,443		54,389	27.0

事業番号	06 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	大気汚染防止対策等事業費		部局	環境部	課・室	水大気環境課

7 主な取組実績と成果

①大気常時監視の運営

風向・風速自動測定記録計、オキシダント自動測定記録計、微小粒子状物質自動測定記録計を整備し大気汚染の状況の常時監視を実施。

②排出源監視指導体制の強化

改正法施行（令和4年4月1日）に伴い、職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会の受講（1回、4人）等により、特定粉じん排出等作業監視指導体制を強化。

③北陸新幹線鉄道騒音の改善

騒音の測定、新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況の確認のための測定を14地点（長野市を含む）で実施。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	昼間の光化学オキシダントの環境基準達成率	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
大気の常時監視や工場・事業場への立入検査を実施することにより、目標値を達成した。							
指標②	指標なし	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	—
—							
指標③	指標なし	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	—
—							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・大気の常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を実施し、目標値を達成した。
- ・新幹線鉄道騒音に係る環境基準については、北陸新幹線鉄道騒音において、資金面や上下分離方式による運営等の理由で事業者が効率的な騒音対策・施設改良方法を見出せず、効果のある対策を実施できていないため、達成していない地点がある。また、新幹線鉄道沿線地域で土地利用対策（鉄道騒音による著しい騒音が及ぶ地域での新たな市街化抑制等）がほとんど進捗していない。

(2) 事業改善の方策

- ・大気の常時監視や工場・事業場への立入検査及び監視指導を継続して実施する。
- ・新幹線騒音測定を引き続き実施し、事業者への騒音対策及び関係省庁への事業者に対する働きかけ並びに施設改良を実現させる制度整備を要望していく。また、新幹線鉄道沿線市町に対して沿線地域での適切な土地利用対策を要望していく。

事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課
-----	--------------	----	-----	-----	--------

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
1	環境保全活動等推進事業費	12 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	公害紛争処理調停委員会の運営	直接	公害紛争を迅速かつ適正に解決するため、公害紛争処理調停委員会を運営 案件0件	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
2	大気汚染防止対策事業費	54,445 千円	62,390 千円	59,626 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	排出源監視指導事業（大気）	直接	工場・事業場から排出されるばい煙や揮発性有機化合物等の基準適合状況検査 ばい煙等測定8件	
2	大気常時監視事業	直接	大気常時監視機器及びオンラインシステムによる大気汚染状況の常時監視 一般環境大気測定局12局、自動車排ガス測定局2局、移動局3局	
3	大気常時監視事業	委託	安定的な大気環境観測体制を維持するため、大気常時監視機器、微小粒子状物質測定機器の保守点検を委託して実施 保守点検台数58台	
4	有害大気汚染物質監視事業	直接	有害大気汚染物質の大気環境中の濃度実態及び経年変化傾向の把握のための大気測定 3箇所	
5	酸性雨対策事業	直接	降水の実態把握や大気汚染物質の長距離輸送の機構を解明するための降水中成分等の観測 4箇所	

細事業No.	細事業名	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度決算額
3	騒音・振動・悪臭対策事業費	2,125 千円	1,735 千円	2,413 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	北陸新幹線騒音・振動対策事業	直接	新幹線鉄道騒音の測定 8市町、14箇所	
2	自動車騒音常時監視事業	直接	自動車騒音の測定 1町、6箇所	
3	自動車騒音常時監視事業	委託	騒音測定結果に基づく面的評価を委託して実施 1町、13区間	
4	悪臭対策事業	直接	市町村担当者向け講習会を開催 年1回開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	化学物質対策事業費	6,872 千円	6,808 千円	7,502 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ダイオキシン類対策事業	委託	ダイオキシン類常時監視等を委託して実施 一般環境調査 14地点	
2	化学物質環境実態調査業務	直接	PRTR制度の周知と届出の促進 化学物質の分析方法の検討、環境実態調査の実施 PRTR届出件数（長野市及び松本市含む） 1,070件 分析法開発 1件、初期環境調査 3件、詳細環境調査 3件、モニタリング調査 3件、スクリーニング分析 1件	